

国酒の伝承は播州の流るる 我が蔵の味はこれ



播州は水処、米処、酒処、それぞれの蔵が、蔵人が伝統の技術と情熱で酒を醸します、素晴らしい酒が造られています。その酒を楽しんで頂きたいこの会を開催致します。
酒は地域文化のバロメーター。また、旨いものがあるところには良い酒があります。
まさに、播州はこの総てが揃った処です。ぜひ、ご参加いただき播州の酒をお楽しみ下さい。

なぜ、播州なのか？ 播州のキーワード

米処・山田錦

日本一の酒米山田錦は播州で栽培されています。

水処

播州平野は二本の一級河川と三本の二級河川が流れる水の豊かな処です。

前どれ

前の瀬戸内海は明石海峡、鹿ノ瀬、家島群島と漁場が多く魚種も豊富、そこで捕れる魚介を前どれと云います。

播磨風土記

現存する五つの風土記の一つ播磨風土記に「かひから酒を醸した記述があり、麴で酒を造った日本酒発祥の地と自負している。

気候風土

北に中国山脈、南は瀬戸内と四国、東は六甲の山脈と淡路島。天災が無く、先土器時代から人の住む肥沃の地。山海の幸であふれる地。

日時／平成二十五年七月二十六日(金)

午後六時三十分受付開始七時開宴

場所／明治記念館「蓬莱間」

東京都港区元赤坂二二二二三

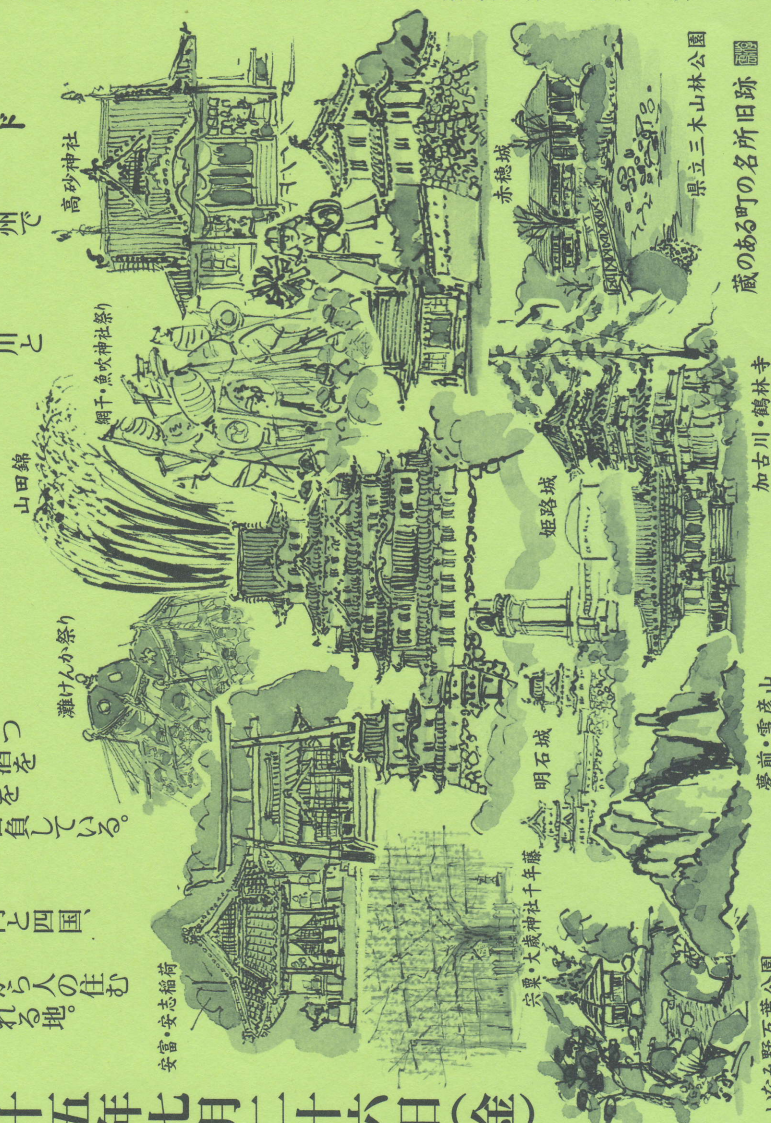
電話〇三二三七四六・七七一一

会費／一万円(定員二百四十名)・着席形式

主催／播州酒・食・文化懇話会

播州酒・食・文化懇話会とは

播州が酒と食と文化の情報発信基地としての機能を有し発展することを願い、鋭い切り口、優しい思い、頑固な哲学で裏付けされたメンバーで構成し活動しようとして二十七年前に誕生した営利を追求しない会です。
現在メンバーは酒蔵十、酒流通四、飲み手十二名の二十六名です。



参加蔵

葵鶴 (三木市)

奥播磨 (姫路市・安富)

白鷺の城 (姫路市・玄畑)

盛典 (加古川市)

雪彦山 (姫路市・夢前)

忠臣蔵 (赤穂市)

龍力 (姫路市・網干)

米のささやき

播州一献 (三栗市)

倭小槌 (播磨町)

来楽 (明石市)

クイズ

「なるほどぞ播州」

播州についての色々を出題し播州を楽しんでいただきます。

●連絡先

兵庫県神崎郡福崎町福崎新一四八
(株)マルック 後藤利豪

TEL〇七九〇一二二一〇二九〇

FAX〇七九〇一二二一三四一〇